

早稲田大学国際学術院
教員(専任教員もしくはテニユアトラック教員) 募集要項

| | |
|---------|--|
| <hr/> | |
| | 社会学 / Sociology |
| 1. 専門分野 | 社会学を専門とし、以下の「2. 業務内容」で記載された科目を担当できる方を募集します。 |
| <hr/> | |
| | 主な担当業務 |
| | 1) 国際教養学部における学部教育。 |
| | 2) 学部及び本学の研究発展に積極的に貢献すること（自主研究活動、国際的な論文発表、外部資金獲得活動、学会や研究会の開催、多様なバックグラウンドを持つ SILS メンバーとの学術協力等）。 |
| | 3) 大学及び学部の規程に基づく諸業務（各種委員会、入試もしくは教務関連業務、他）。 |
| | 担当科目： |
| | 原則として英語により、以下の通り入門、中級、上級科目に配当される社会学に関する講義、演習を担当する。 |
| | 【講義科目】 |
| | 入門科目： Introduction to Sociology |
| 2. 業務内容 | <ul style="list-style-type: none">社会学の基礎的な文献やテーマ、アプローチ（研究手法）について広く扱うことが求められる。 |
| | 中級・上級科目： |
| | <ul style="list-style-type: none">候補者の研究・関心を踏まえ、レベル・専門性を順次高めながら展開する。日本内外から多様なバックグラウンドの学生が集まることを踏まえ、今日のグローバルな課題に鋭敏で、学生の知的関心と対話を刺激する科目群を展開することが期待される。 |
| | 【演習科目】 |
| | 原則として、初級・中級・上級の各レベルで開講する。 |
| | 注：春・秋の2学期制（各14週間）での科目担当を基本としており、1授業時限（コマ）は100分。通常各学期4-5コマ、年間9コマ以上の授業を担当する。 |
| | また、早稲田大学において、修士、博士レベルの学生を教育・指導する場合もある。 |
| <hr/> | |
| 3. 応募資格 | (1) 博士の学位もしくは同等の資格を有する者。 (2) 英語での講義能力を有すること。 |
| <hr/> | |
| 4. 採用人数 | 1名 |
| <hr/> | |

教授、准教授または専任講師。 准教授（テニュアトラック）または講師（テニュアトラック）となることもある。

※ 採用資格については、応募者の学歴、研究教育業績等を総合的に審査して決定し、選考結果とともに通知する。

※ テニュアトラック資格で採用された場合、教員は以下の規定を遵守する必要がある。

- テニュアトラック教員の任期は原則として3年とする。
- 嘱任後3年目に限り、専任教員への身分変更の申請をすることができる。申請があった場合、人事審査委員会にて、本学部の「人事審査に関する内規」にしたがい、身分変更を求める要件として定められている期間における身分変更申し出者の研究業績、教育実績及び学部業務等を、総合的に判断し、身分変更可否を判定する。そのうえで大学が身分変更可否を決定する。身分変更ができなかった場合も審査の結果2年間の延長がなされる場合もある。なお、申請可能期間等の詳細は対象者に別途通知する。
- 資格にかかわらず2013年4月1日以降に本学と雇用契約があり、今回の採用日までの間に原則として半年間以上の雇用契約を締結していない期間がない場合は、継続雇用契約期間に上限がある。そのため、契約期間や再任用の有無・期間について、上記に満たない場合がある。
- テニュアトラック期間中に、本学が指定する Faculty Development プログラムへ参加を依頼することがある。

5. 採用資格

◆ 勤務時間等 所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。

◆ 勤務地 原則として、早稲田キャンパス

◆ 給与 本学規程による。

◆ 諸手当・通勤費 本学規程による。

◆ 退職金 本学規程による。

◆ 休日、休暇 休日は、土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日とする。但し、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
休暇は、労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日（夏季・冬季休暇、事務所閉鎖期間等）。

◆ 社会保険 厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。

6. 勤務・待遇等

7. 採用時期 2027年4月1日または2027年9月1日

次の(1)と(2)の両方を応募期限までに完了することで、応募を受理する。
(2)の3と4については所定の書式を以下のURLからダウンロードし記入すること。
それ以外は書式自由。
1 - 5は英語で記すこと。
7は英語、日本語のどちらでもよい。

<https://waseda.app.box.com/folder/193054471255?s=h594r1nxexlhowclw9z0xtotwlgqu4vn>

8. 応募方法

(1) Web エントリー

以下のURLから必要事項を入力し、「Web エントリー」すること（2026年3月24日締め切り）。

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=c8-g8jpmcMh8fyerxTNBMA>

(2) 応募書類

| | |
|------------------------------|---|
| 1. チェックリスト | 以下の書類がそろっているかを確認し添付すること https://waseda.box.com/s/ivnjfmzm5n1x4ezn4rjasmoqj3u02g9 |
| 2. 志望理由書 | カバーレター。本学部の教員となることに関心を持った理由と、自身の教員としての適性について説明すること。 |
| 3. 履歴書 | 指定書式をダウンロードし、全項目を記載のこと。 https://waseda.box.com/s/l6f1hv6tpby9vq05q9izi7bms4gozl1t 注1：現在のポジションがテニユアか否か（任期付など）を明記すること。 注2：日本の研究教育機関等における役職がある場合は、日本語による職位名も併記すること。 |
| 4. 教育・研究業績 | 以下 a、b、及び c を提出すること a. 教育・研究業績書 (Education and Research Achievements I - IV) <ul style="list-style-type: none">指定書式をダウンロードし、全項目を英語で記載のことhttps://waseda.box.com/s/cl7lkz6r04p11ylfwqfmru8j1l6789no b. 研究業績 <ul style="list-style-type: none">主たる著書・論文など5点以内（コピー可）および、それらの英語による要約（一点につき 250 words）。今後発表や印刷を予定されている論文や書籍の場合、掲載可とした出版社からのレター（出版社またはジャーナル編集者が確認したもの）を提出すること。非英語の研究成果については、英文タイトルと原文タイトルを併記すること。なお、非英語の著作物については、その要旨がわかる英語での説明文書（形式は問わない）を添付すること。 c. 教育内容及び経験 <ul style="list-style-type: none">これまでの教育活動の内容を示す資料（授業のシラバス、授業における配布資料等） |
| 5. 教育・研究計画 | <ul style="list-style-type: none">本学部において教育可能な科目の例（入門科目「社会学」と任意の中級もしくは上級科目、計2科目分）のコース内容とシラバス。本学部における教育計画と研究計画を別々で明記。 |
| 6. 最終学歴学位記コピーもしくは当該学位取得見込の証明 | |
| 7. 推薦状2通 | 原則英語で（日本語でも受付可）、レターヘッド用紙に記載し、署名されたものをスキャンし、推薦者本人から直接[12. 問い合わせ先]のアドレスに送付するよう依頼すること。 なお、メールのタイトルに「社会学[応募者名]+推薦状」と記載するよう伝えること。 |
| 8. その他 | 上記7の推薦者の他に、2名の推薦者の氏名、所属機関・資格、連絡先（電話番号、Eメールアドレス等）を記載したリスト（書式自由）を提出。選考の過程でこれらの方に直接連絡をとることがある。 |

注：応募書類は原則として返却しない。応募書類の到着状況についての問い合わせには応じない。

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学国際教養学部 社会学 採用係

9. 応募書類提出先

- ※ 封筒には「社会学 応募書類 在中」と朱記のこと。
- ※ 簡易書留郵便や宅配便等、追跡可能な手段で送付すること。
- ※ 直接出頭による提出や電子媒体による書類の提出は認めない。

| | |
|------------|--|
| 10. 応募期限 | Web エントリー：2025 年 12 月 12 日～2026 年 3 月 24 日 23：59（JST） 応募書類提出：2025 年 12 月 12 日～2026 年 3 月 31 日 17:00 必着 ※ 期限後の提出は、理由にかかわらず認めない。 |
| 11. 選考 | (1) 第 1 次選考（書類選考） 選考結果は 2026 年 5 月初旬ごろに CV に記載されたメールアドレス宛に通知 第 2 次選考（面接。模擬授業と研究発表を含む） 原則として早稲田大学（東京）において、2026 年 5 月 23 日（土）または 24 日（日） に実施予定。 詳細は第 1 次選考合格者に通知する。旅費は自己負担。 （ただし状況によってオンラインによる選考に変更されることもある。） (2) 最終選考結果は 2026 年 9 月下旬（予定）に本人宛通知。 |
| 12. 問い合わせ先 | 早稲田大学国際教養学部 社会学 採用係 Email: sils-ap@list.waseda.jp 事務取扱時間 月～金曜日 9:00～17:00 ※土・日曜・祝日および一斉休業期間は事務取扱なし |
| 13. ホームページ | 国際教養学部に関してはホームページ参照。 国際教養学部 https://www.waseda.jp/fire/sils/ |

（個人情報の取扱い）

個人情報は採用選考の目的のみに利用する。なお、採用が決定された方の個人情報については、引き続き採用後の雇用管理のために利用する。その他の応募者の個人情報は、採用試験終了後、本学の規則に則り厳重に廃棄処分する。

早稲田大学は、国際化、男女共同参画などダイバーシティの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、国籍、性別、信条、障がい等を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。

以 上